



# 岡山大学メディカルセンター構想

～岡山における医療・福祉サービス提供体制の効率化と地域経済活性化の実現～

平成26年3月28日

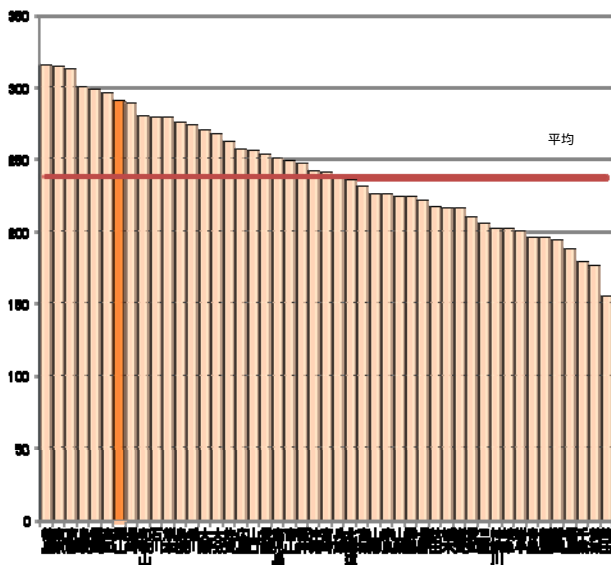
岡山大学 森田 潔

# (1) 提案の背景

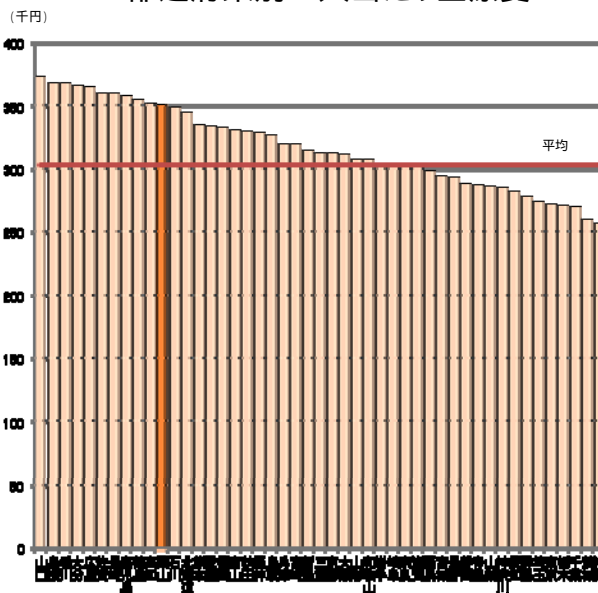
## 岡山県の現状

- ✓ 人口当たり医師数が全国7位で、医師数が充実している。  
(厚生労働省：2012年医師・歯科医師・薬剤師調査より)
- ✓ 一人あたり医療費が全国11位で、高コストである。  
(厚生労働省：2011年医療費の地域差分析より)
- ✓ 医師や医療機関は中心部に偏在し、中心部では総合病院による過当競争が起こりつつある。一方で、県北や島嶼部では医療過疎が問題となっている。
- ✓ 今後人口減少が加速するため、岡山市を核としたコンパクトシティの整備に早急に着手する必要。医療提供体制の再編は急務である。

都道府県別人口10万人当たり医師数



都道府県別一人あたり医療費



岡山県DPC病院の分布



# ( 1 ) 提案の背景

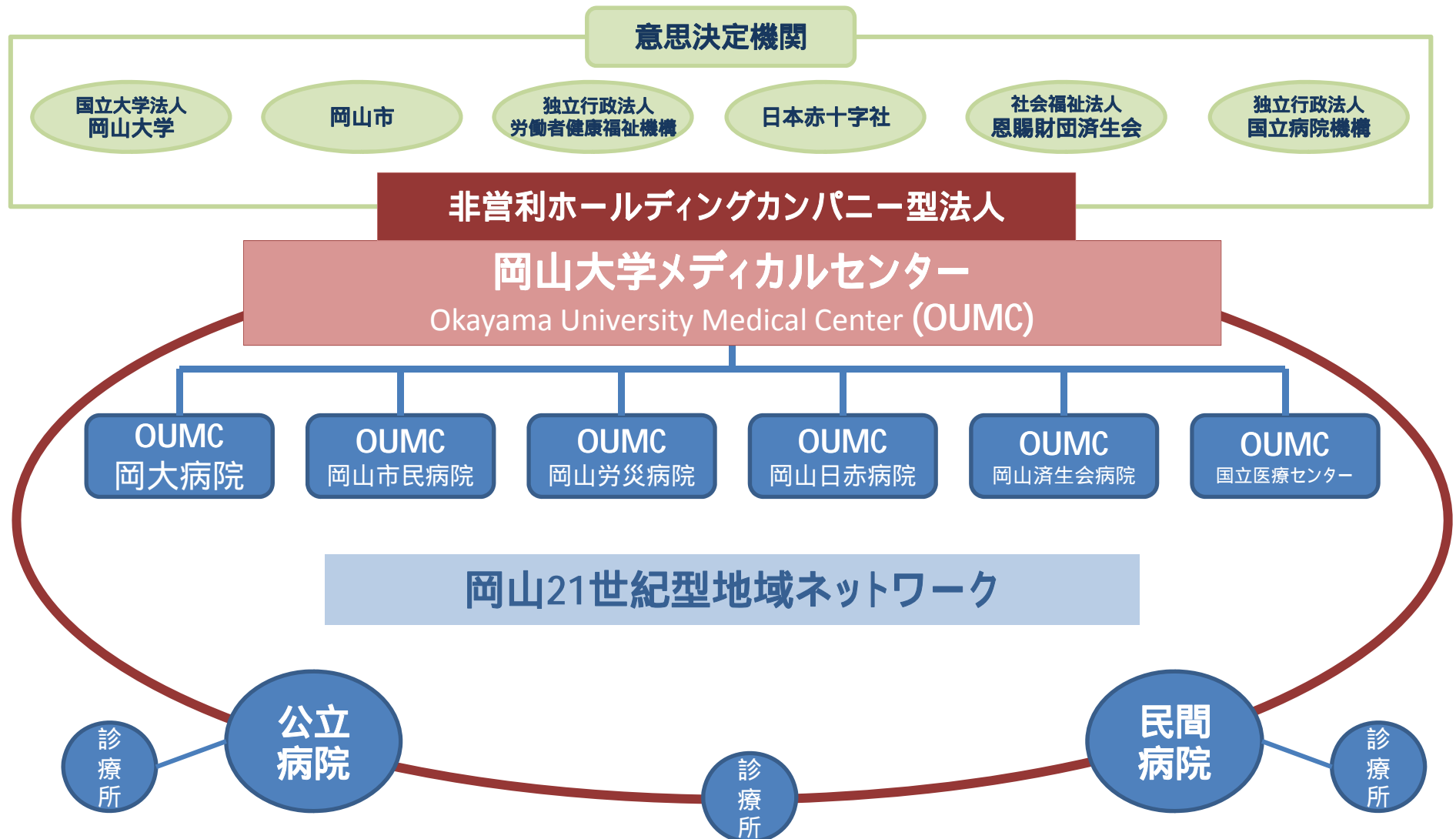
---

## □ 大学附属病院の現状

- ✓ 大学附属病院の役割は、「教育」「研究」「臨床」の3点に集約される。
- ✓ 日本の医療、特に先進医療は大学附属病院によって担われてきた。
- ✓ 医師等の人材育成も大学附属病院が中核となって担ってきた。一方で、大学病院だけでは臨床教育の全てをカバーできないという現状がある。
- ✓ 中核都市における医療提供体制の充実には、大学附属病院の「臨床機能」を中核として充実・発展させ、その成果を医学教育及び研究に還元していく好循環を創り出す必要がある。
- ✓ 優秀な人材の確保も含め、大学附属病院の機能を更に発展させる組織形態にする必要がある。



## ( 2 ) 岡山大学メディカルセンター構想の概要



## ( 2 ) 岡山大学メディカルセンター構想の概要

### Okayama University Medical Center (OUMC)

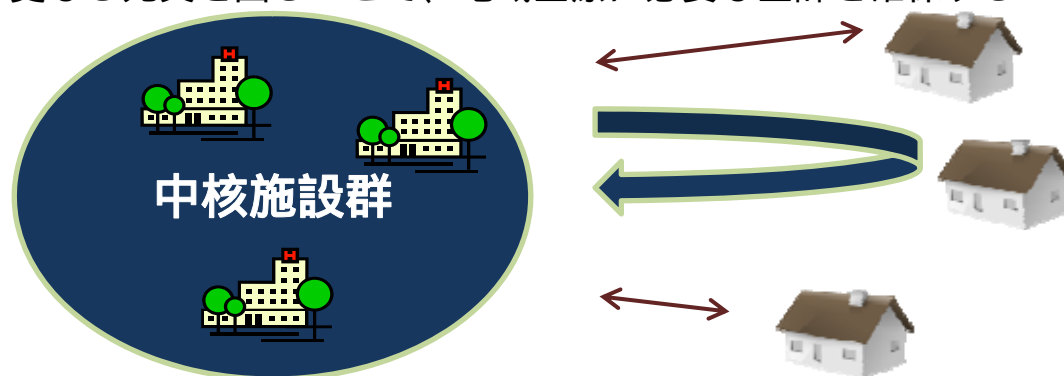
1. 岡山大学附属病院を別法人化し、同病院を中核として近隣病院を包含した岡山大学メディカルセンター（OUMC）を構築する。
2. 同一のガバナンスのもとで競合・分立していた診療内容を再編し、競合を避け、各々の診療領域の規模及び質を向上させ、日本一の規模と質を持った医療事業体を創出する。
3. 国際レベルのメガホスピタルを創出し、県外およびアジア等海外からも患者を受け入れる医療事業の核とするとともに、日本のサービスを海外へ輸出する拠点とする。
4. 大学医学部における教育の質を担保するため、新法人は岡山大学と、「教育」、「研究」機能を確実に提供する契約を締結するなどの措置を行なう。（従来の大学附属病院の機能を継続的に担うべく運営費交付金等については他大学附属病院と同等の扱いとする。）
5. 国立大学法人は新法人の構成員として、新法人の意思決定に参画する。

## ( 3 ) 岡山大学メディカルセンター構想の期待される効果

### Okayama University Medical Center (OUMC)

#### 地域住民にとって

- ✓ 最適な施設で医療サービスの提供が受けられる。
  - \* 中核施設群の連携により、地域にネットワークを構築して最高レベルの医療を実現する。
  - \* 周辺施設との連携の中で地域全体の医療の質に責任を持ち、搬送体制の確立、高難度症例の分担、診断治療のサポートを行う。
- ✓ 医療過疎が解決される。
  - \* 周辺の小規模施設は、連携を前提に機能を集約する。また若手医師においては、十分な経験を積むことが出来るようローテーションを設計する。
  - \* 研修内容の更なる充実を図ることで、地域医療に必要な医師を確保することが可能となる。

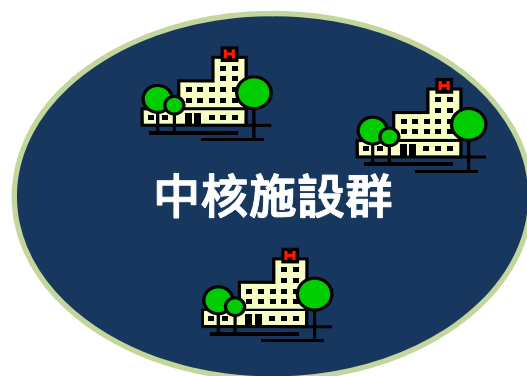


## ( 3 ) 岡山大学メディカルセンター構想の期待される効果

Okayama University Medical Center  
(OUMC)

### 医療従事者にとって

- ✓ **キャリア開発の機会を得られる。**
  - \* 大規模事業体となるため、人事ローテーション、研修、学会参加、留学などが提供できる。例えば、若手は一定期間を中山間地域で過ごし定期的に研修を行い、中堅は、子弟の教育環境が良い都市部に勤務するといったことが可能になる。
- ✓ **適正な評価に基づく報酬が得られる。**
  - \* 岡山大学メディカルセンター（OUMC）として診療機能を別法人化することで医療者としての評価を付与し、優秀な人材を確保する。





## ( 3 ) 岡山大学メディカルセンター構想の期待される効果

### Okayama University Medical Center (OUMC)

#### 医療産業都市を形成する

- ✓ 県内外から患者を呼び込む。
  - \* 集約による医療レベルの向上を通じて、県外からも患者を受け入れる。
  - \* 内外からの患者吸引力が増大することで、宿泊施設などの県内周辺産業の需要増につながる。
  - \* 来訪者の増加に加え、「医療」「健康」の地域イメージと、農水産物などの地域資源を組み合わせることで、様々な産業振興、経済活性化の可能性が生まれてくる。
- ✓ 医薬品や医療機器の研究開発の基盤を充実する。
  - \* 症例集積が進むことで、医療の質の向上、治療成績の向上など、医療技術の向上に繋がるとともに、研究開発の基盤が充実する。（岡山大学病院は臨床研究中核病院に認定）
- ✓ 医療関連産業の集積。
  - \* 全体で症例が蓄積し、研究開発機能が集約されることで、創薬ベンチャーを含めた医薬品産業、医療機器産業、資本の集積に繋がる。
- ✓ 日本の医療サービス輸出の拠点となる国内企業のアジア進出を後押しする。
  - \* 岡山大学がミャンマーの医師育成に長年協力してきた実績を踏まえ、OUMCを基盤に東南アジア諸国の医療制度整備に貢献する。これまでに築いた人脈をソフトパワーとして、日本の医療サービスの輸出する拠点となる。



## ( 4 ) 必要な規制改革事項等

---

---

- ◆ 国立大学法人等が岡山大学メディカルセンター（OUMC）の構成員となるために必要な規制改革。
- ◆ 岡山大学メディカルセンター（OUMC）の事業体を大学附属病院とみなすための規制改革。
- ◆ 病院施設等を所有する（地方）独立行政法人が新法人に参画するために必要な規制改革。
- ◆ 岡山大学メディカルセンター（OUMC）のガバナンスを強化するために必要な規制改革。
- ◆ 人材の融通、営利法人への出資、資金調達等の効率化のために必要な規制改革。